

# 大阪府「妊産婦死亡含めた重症妊産婦症例の実態に関する調査」

1) 施設名 \_\_\_\_\_ 調査担当者 \_\_\_\_\_

2) 調査期間：2010/08/01～2011/01/31のうち、前期 2010/08/01～2010/10/31

3) 調査対象症例

- 以下の疾患等の妊産婦で、緊急に母体救命処置が必要であった症例
- 診断・判断の基準は、各医療機関に委ねるものとします。

疾患・症候	症例数	発生日、患者 ID
妊産婦死亡 (妊娠中または分娩後 42 日以内の母体の死亡)		
<b>重症 産科救急疾患</b>		
子癇		
HELLP 症候群、急性妊娠脂肪肝		
羊水塞栓		
子宮破裂		
出血性ショック (前置胎盤、癒着胎盤、弛緩出血、子宮外妊娠など)		
産科 DIC (常位胎盤早期剥離)		
<b>妊娠、産褥期における救急疾患</b>		
脳血管障害		
急性心疾患 (心不全、心筋梗塞など)		
呼吸不全 (肺塞栓、肺水腫、重症喘息発作など)		
敗血症		
重症外傷		
多臓器不全 (肝・腎不全、薬物中毒など)		
<b>妊娠、産褥期における重篤な症状</b>		
意識障害		
痙攣発作		
ショック状態		
大量出血		
激しい頭痛		
激しい胸痛		
激しい腹痛		
その他、重篤と判断した症例		

後ほど 詳細な調査を個別調査票にてお伺いしますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

事務担当

大阪大学大学院医学系医学科 産科婦人科学教室 金川武司

連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田ヶ丘 2-2

06-6879-3351 (産科婦人科学医局)

別紙 2

記

- 1) 調査期間:2010/08/01～2011/01/31
- 2) 調査対象症例:以下に示します

妊産婦死亡（妊娠中または分娩後 42 日以内の母体の死亡）	
重症 産科救急疾患	
子癇	HELLP 症候群、急性妊娠脂肪肝
羊水塞栓	子宮破裂
出血性ショック（前置胎盤、癒着胎盤、弛緩出血、子宮外妊娠など）	産科 DIC（常位胎盤早期剥離）
妊娠、産褥期における救急疾患	
脳血管障害	急性心疾患（心不全、心筋梗塞など）
呼吸不全（肺塞栓、肺水腫、重症喘息発作など）	敗血症
重症外傷	多臓器不全（肝・腎不全、薬物中毒など）
妊娠、産褥期における重篤な症状	
意識障害	痙攣発作
ショック状態	大量出血
激しい頭痛	激しい胸痛
激しい腹痛	
その他、重篤と判断した症例	

以上、公務ご多用中とは存じますが、趣旨をご理解いただき、なにとぞご高配下さいますようお願い申し上げます。

事務担当

大阪大学大学院医学系医学科 産科婦人科学教室 金川 武司

連絡先 06-6879-3351（産科婦人科学医局）

（注）本頁の FAX は不要です。

## 妊産婦死亡を含めた重症妊産婦症例調査票 (FAX 用)

前ページに示すような妊産婦死亡を含めた重症妊産婦症例がございましたら、お手数ですが、発生日時と貴病院名をご記入のうえ、下記まで FAX して下さい。

FAX 番号 06-6879-3359

### I. 発生日時

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

### II. 発生日時

貴病院名 \_\_\_\_\_

後ほど、詳細な調査票をお伺いしますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。

事務担当

大阪大学大学院医学系医学科 産科婦人科学教室 金川 武司

連絡先 06-6879-3351 (産科婦人科学医局)

## 個 票

報告 平成 年 月 日

施設名		記載担当医氏名	
患者ID		異常発生日	平成 年 月 日
発症年齢		妊娠週数	週 日
初経	(初産婦・経産婦( )回)	分娩日	平成 年 月 日
児数	(1・2・3・4・5以上)	分娩様式	経膈・帝切
発生時期	(妊娠中 ・ 分娩時 ・ 産後0-7日 ・ 産後8-42日 ・ 産後43日以上)		

## I. 患者の状態に関する事項

- 該当項目に○ (複数回答可) -

1. 妊産婦死亡事例 (妊娠中または分娩後42日以内の母体の死亡)
2. (高度)救命救急センター搬送例
3. 周産期母子医療センター(基幹病院)に母体救命を目的に搬送例
4. 自院・他院を問わず、ICUあるいは集中治療室管理を受けたもの(MFICUを除く)
5. 人工呼吸管理を受けたもの(予定手術等に引き続く通常の呼吸管理は除く)

## II. 具体的な症例

- 該当項目に○ -

<b>妊産婦死亡</b> (妊娠中または分娩後42日以内の母体の死亡)	
<b>重症 産科救急疾患</b>	
子癇	HELLP 症候群、急性妊娠脂肪肝
羊水塞栓	子宮破裂
出血性ショック (前置胎盤、癒着胎盤、弛緩出血、子宮外妊娠など)	産科 DIC (常位胎盤早期剥離)
<b>妊娠、産褥期における救急疾患</b>	
脳血管障害	急性心疾患 (心不全、心筋梗塞など)
呼吸不全 (肺塞栓、肺水腫、重症喘息発作など)	敗血症
重症外傷	多臓器不全 (肝・腎不全、薬物中毒など)
<b>妊娠、産褥期における重篤な症状</b>	
意識障害	痙攣発作
ショック状態	大量出血
激しい頭痛	激しい胸痛
激しい腹痛	
<b>その他、重篤と判断した症例</b> (具体的に記載してください)	



III. 患者背景：

1. 既往歴： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
2. 妊娠分娩歴： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
3. 今回妊娠経過における特記すべき事項：  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

IV. 症状発生から最終治療施設到着までの連絡、搬送の時間経過（わかる範囲で記載してください。次ページの記載例を参照ください）

日時	患者の所在場所	症状・診断	連絡 (誰から誰へ、受け入れの可否)	搬送（送り出し、受け入れ、搬送手段等）

V. 入院後の経過を簡単に記載してください。

VI. 最終診断名：

---

VII. 転帰 該当する項目に○

疾患の状況	治癒	寛解	軽快	不変	再発	悪化	死亡	判定不能
患者の状況		退院		退院予定		入院中		転院予定

VIII. 本症例は（ 回避できた ・ 回避できなかった ・ 不明 ） いずれかに○

そのように考えられる理由を簡単に記載してください。

◇ 症状発生から最終治療施設までの連絡、搬送の時間経過 記載例

日時	患者の所在場所	症状・診断	連絡 (誰から誰へ、受け入れの可否)	搬送（送り出し、受け入れ、 搬送手段等）
×月×日 12:00	自宅	激しい頭痛		
12:15	自宅		夫が119番通報	
12:25	自宅			救急隊到着
12:40	自宅	意識消失		
12:55			救急隊から自施設周産期センターへの搬送依頼 (4施設目)	
13:10			自施設救急センターへの受入の返事	
13:13				救急隊出発
13:35		除脳硬直		病院到着

ご多忙中、記載ありがとうございました。

事務担当

大阪大学大学院医学系医学科 産科婦人科学教室 金川武司

連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田ヶ丘2-2

06-6879-3351 (産科婦人科学医局)

厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)  
分担研究報告

「妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究」  
救命救急医療との連携モデル研究班  
概要報告

# 妊産婦死亡を含めた重症管理妊産婦症例調査

## ● 目的

- 妊産婦死亡の減少を図るために、妊産婦死亡症例のみならず、重症妊産婦の検討を行う。
- 大阪府内における母体救命対応症例の発生状況を前向き検討。

## ● 対象症例・方法:

- 調査期間:2010年8月～2011年1月まで(6ヶ月)
- 大阪府内で妊娠・分娩する全妊婦
- 分娩取り扱い全施設に対して、7月に調査依頼
- 期間は、8-10月、11-1月の2回に分けて施行
- のちに、個票を配布し、詳細について記入してもらった

# 重症管理妊産婦症例 対象症例表

- 以下の疾患等の妊産褥婦で、緊急に母体救命処置が必要なもの

## 1. 産科救急疾患(重症)

- ①子癇
- ②HELLP症候群, 急性妊娠脂肪肝
- ③羊水塞栓症
- ④子宮破裂
- ⑤出血性シヨック
- ⑥産科DIC

## 2. 妊産褥婦の救急疾患合併

- ①脳血管障害
- ②急性心疾患(心不全、心筋梗塞)
- ③呼吸不全
- ④重症感染症, 敗血症性シヨック
- ⑤重症外傷, 熱傷
- ⑥多臓器機能不全

## 3. 重篤な症状(診断未確定)

- ①意識障害
- ②痙攣発作
- ③シヨック状態
- ④大量出血(2000ml以上)
- ⑤激しい頭痛
- ⑥激しい胸痛
- ⑦激しい腹痛
- その他、重篤な疾患が疑われる症例

## 重症管理妊産婦の実態に関する調査

- 対象：大阪府内 分娩取り扱い施設
- 調査期間：2010年8月～2011年1月まで(6ヶ月)
- 依頼施設  
総合病院 65施設  
救命救急 9施設  
個人病院 93施設
- 回答施設  
総合病院 50施設 (回答率 76.9%)  
(救急 2施設)  
個人病院 2施設

# 母体救命救急症例の実態に関する調査 症例の概要

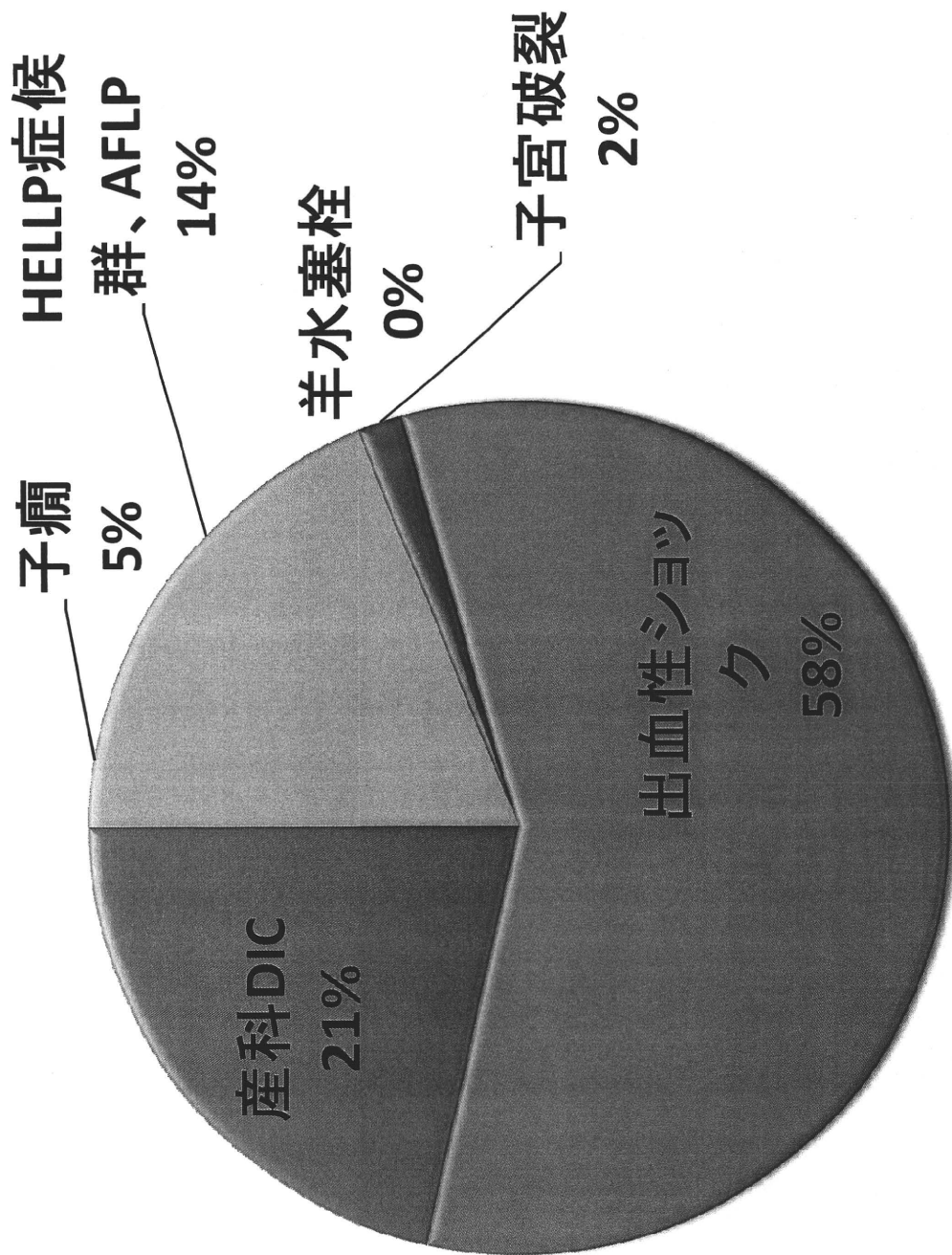
## 1. 産科救急疾患(重症)

疾患・症候	症例数
子癇	6
HELLP症候群、急性妊娠脂肪肝	16
羊水塞栓	0
子宮破裂	2
出血性ショック (前置胎盤、癒着胎盤、弛緩出血、子宮外妊娠など)	67
産科DIC (常位胎盤早期剥離など)	25
計	116

母体救命救急症例の実態に関する調査 症例の概要

## 1. 産科救急疾患(重症)

116例中





# 母体救命救急症例の実態に関する調査症例の概要

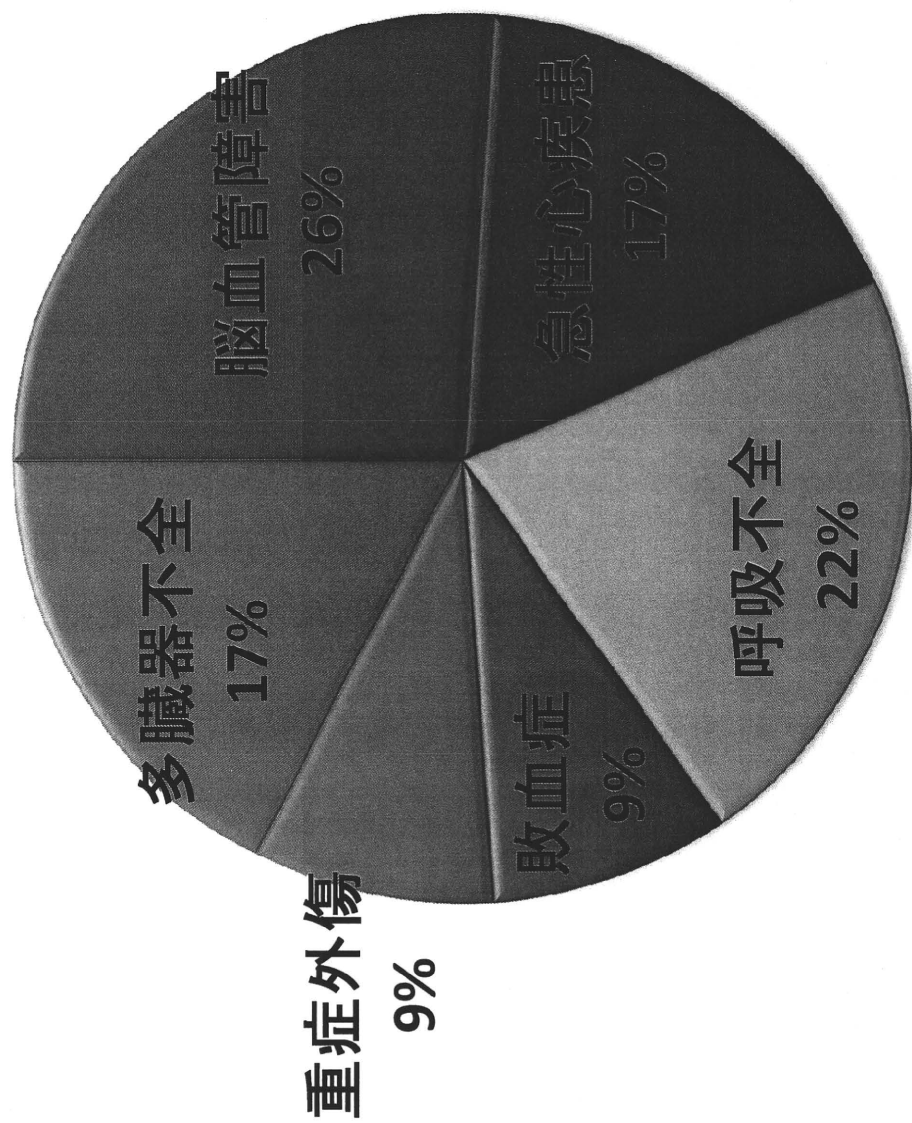
## 2. 妊産褥婦の救急疾患合併

疾患・症候	症例数
脳血管障害	6
急性心疾患（心不全、心筋梗塞など）	4
呼吸不全（肺塞栓、肺水腫、重症喘息発作など）	5
敗血症	2
重症外傷	2
多臓器不全（肝・腎不全、薬物中毒など）	4
計	23

母体救命救急症例の実態に関する調査症例の概要

## 2. 妊産褥婦の救急疾患合併

23例中

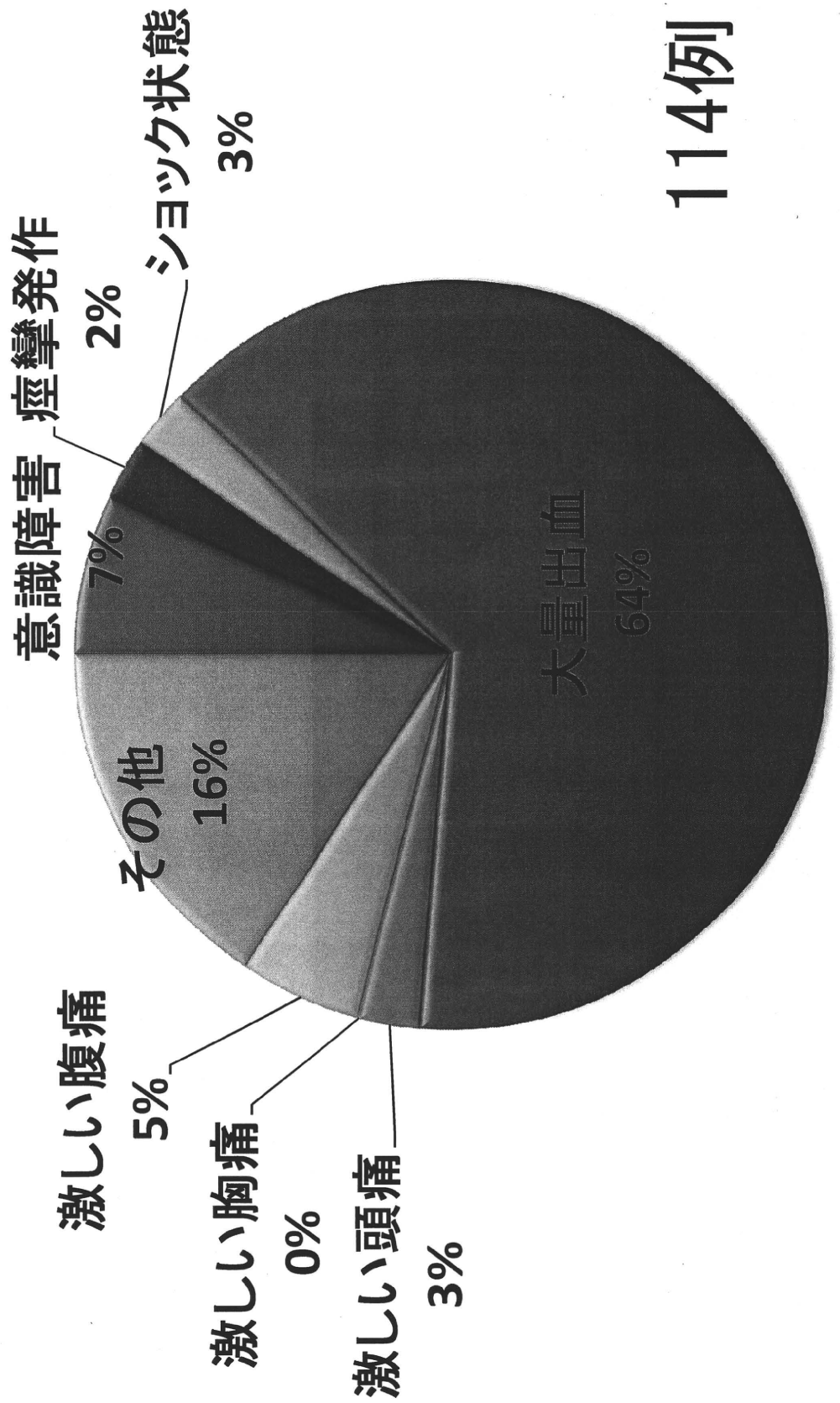


# 母体救命救急症例の実態に関する調査 症例の概要

## 3. 妊娠、産褥期における重篤な症状

疾患・症候	症例数
意識障害	8
痙攣発作	3
ショック状態	3
大量出血	73
激しい頭痛	3
激しい胸痛	0
激しい腹痛	6
その他、重篤と判断した症例	17
計	113

母体救命救急症例の実態に関する調査 症例の概要  
3. 妊娠、産褥期における重篤な症状



114例



# 母体救命救急症例の実態に関する調査 症例の概要

疾患・症候	症例数
1. 妊産婦死亡	2
2. 産科救急疾患(重症)	116
3. 妊産褥婦の救急疾患合併	21
4. 妊娠、産褥期における重篤な症状	97
5. その他、重篤と判断した症例	18
計	254

# 発生頻度

大阪府における年間分娩件数

平成19年度 78,837

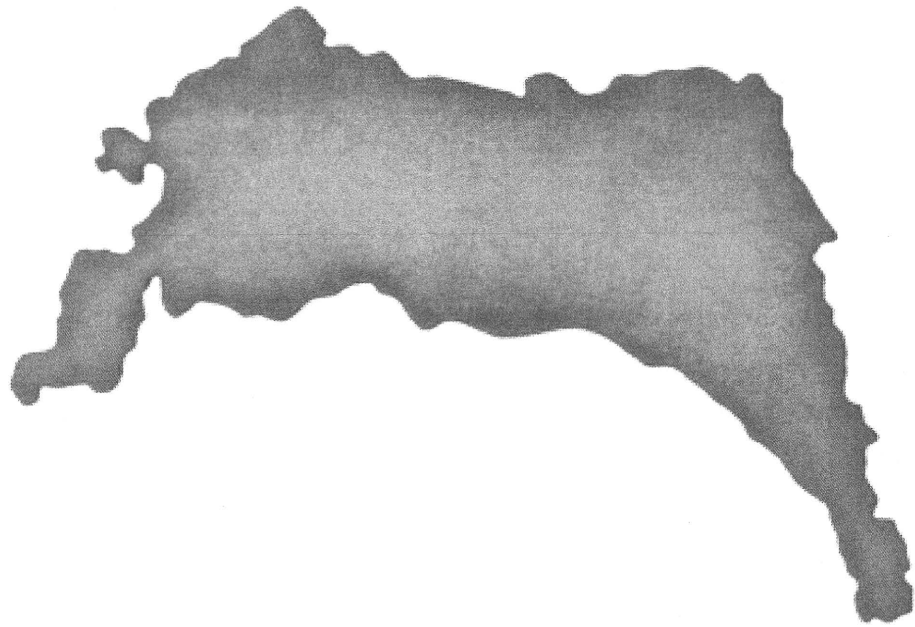
平成20年度 78,074

年間 約78,000件/年

半年間に有効回答が76.9%

母集団は、約29,640と推測される

$$\frac{254}{29,640} = \frac{1}{117}$$



# 母体救命救急症例の実態に関する調査

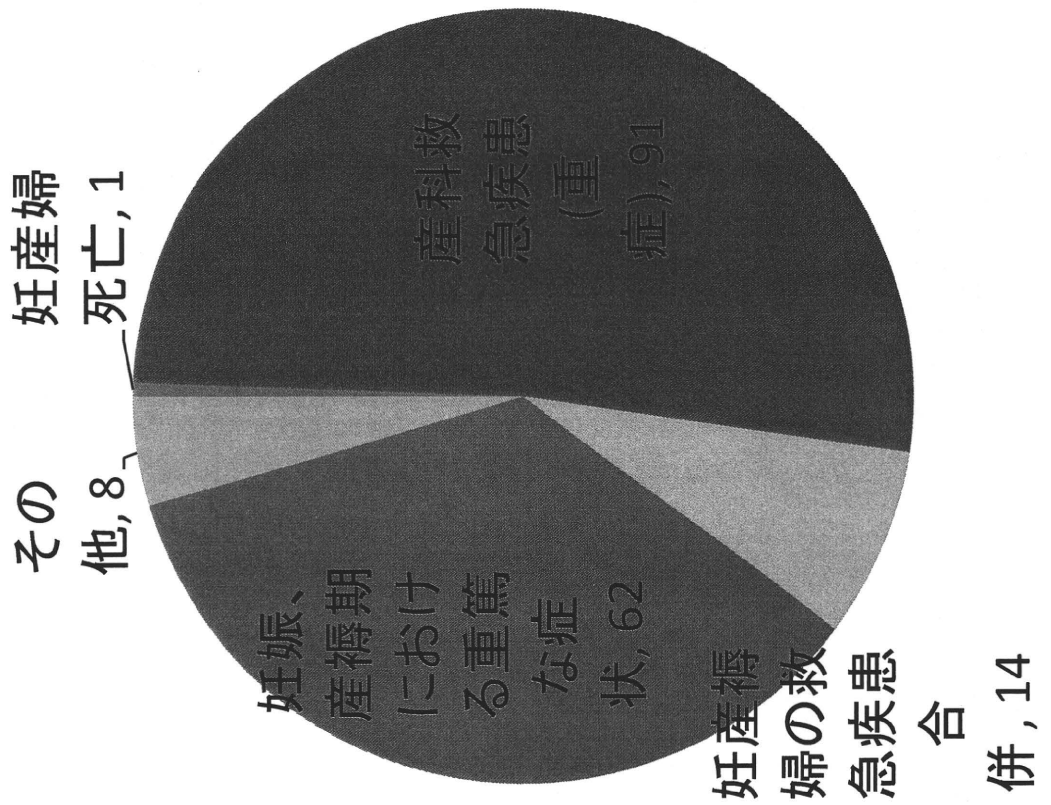
## ＜ 個票による調査 ＞

- 依頼施設  
総合病院 50施設  
救命救急 2施設  
個人病院 2施設
- 回答施設  
総合病院 27施設 (回答率 54%)  
救急 1施設 (回答率 50%)  
個人病院 2施設 (回答率 100%)

**回答症例数 176例 (回答率 70%)**

# 母体救命救急症例の実態 個票調査

## 重症分類



疾患・症候	数
妊産婦死亡	1
産科救急疾患(重症)	91
妊産婦の救急疾患合併	14
妊娠、産褥期 における重篤な症状	62
その他	8
計	176